

男女共同参画コーナー

11月11日は「介護の日」

問合せ 長寿介護課介護保険グループ (☎ 38-5811)
岩倉市地域包括支援センター (☎ 38-0303)
岩倉東部地域包括支援センター (☎ 96-6553)

11月11日は「いい日、いい日」にかけて「介護の日」です。「介護」について考えてみませんか。

●高齢化の現状

令和4年10月1日現在、日本の総人口は1億2,495万人となっています(総務省「人口推計」)。65歳以上人口は3,624万人(男性1,573万人、女性2,051万人)で、男性対女性の比は約3対4となっています。

総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)は29.0%となっており、今後は総人口が減少していくのに対し、65歳以上人口は増加し、令和52年(2070年)には高齢化率は38.7%に達し、国民の2.6人に1人が65歳以上の人となることを見込まれています。

●65歳以上の人は支えらえる人?

令和4年総務省「労働力調査」によると、65～69歳の就業状況は、男性で61.0%、女性で41.3%となっており、65歳を過ぎても多くの人が就業している状況です。

また、令和元年度内閣府「高齢者の経済生活に関する調査」では、現在収入のある仕事をしている60歳以上の人の約4割が「働けるうちはいつまでも」働きたいと回答しており、高い就業意欲が感じられます。

●仕事と介護の両立を考えてみましょう

こうした中、介護離職が社会的な問題となっています。介護離職は社会における労働力人口の減少という問題だけでなく、個人においても、収入の減少や自己実現の場の喪失といった弊害をもたらします。

男女別に見ると、依然として女性の介護離職が多いものの、近年では男性の介護離職も大きな問題となっています。介護の悩みを抱え込まないように、介護休業制度や介護サービスの利用を検討するだけでなく、周囲の人や公的機関に相談することも考えてみましょう。

～女性に対する暴力をなくす運動～

問合せ 福祉課社会福祉グループ (☎ 38-5830)

毎年11月12日から「女性に対する暴力撤廃国際日」である25日までの2週間は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

性暴力被害に悩んでいる人を見かけたら、性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの全国共通番号(#8891はやくワンストップ)を教えてください。ワンストップ支援センターは、被害直後からの総合的な支援を可能な限り一カ所で提供する相談窓口です。

また、警察の窓口として、各都道府県警察の性犯罪被害相談窓口につながる全国共通番号(#8103ハートさん)もあります。

パープルリボンで連帯を!

パープルリボンは、女性に対する暴力をなくす運動のシンボルマークです。パープル(紫)色のリボンを身に着けたり飾ったりすることで、被害者に「あなたは独りではない」と勇気を与えたり、社会に対してDVや虐待などあらゆる暴力の根絶を呼び掛けたりしています。

男女共同参画啓発パネルを展示します

問合せ 協働安全課市民協働グループ (☎ 38-5803)

時代とともに女性の社会進出が進み、今や共働きの夫婦は珍しくなくなりました。現役世代とシニア世代における夫婦の分担意識や現状から、これからの夫婦のあり方や役割についてパネルを展示します。

誰もが暮らしやすい社会を実現するために、改めて“男女共同参画”とは何か考えてみませんか。ふれ愛まつりへお越しの際は、ぜひ見てください。

- 展示期間 11月11日(土)～12日(日)
- 展示場所 アデリア総合体育文化センターラウンジ
- パネルの内容 「男女共同参画のキホン(夫婦編)」